

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52321	乳児保育 I Infant care	小田 良枝	✓	専門	2	選択	1年後期

科目の概要

乳児保育の理念と基礎理論について学び、保育士の役割について考える。乳児が健やかに伸び伸びと育つための望ましい乳幼児期の保育活動について、生命の維持と情緒の安定という視点を軸としながら理解する。乳児の身体的発達や一日の生活についても理解し、保育士の関わり方や支援方法を具体的に学ぶ。さらに、乳児を取りまく家庭や地域の環境について、問題点と今後の課題について学修する。
★県内の公立保育園及びこども園で30年間の実務経験があり、うち、7年間は0・1・2歳児の乳児専門園に勤務した。勤務時は、産休明け保育や医療的ケア児、要支援家庭の保育など他機関と連携して行った実際の経験から、事例や最近の保護者の動向を踏まえた、より実践的な演習を行う。

学修内容	到達目標
① 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。 ② 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 ③ 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 ④ 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や関係機関との連携について理解する。	① 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解することができる。 ② 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解することができる。 ③ 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解することができる。 ④ 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や関係機関との連携について理解することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題や次回の授業内容の提示に対し、主旨を受け止め、進んで取り組み、さらに課題を分析するのに必要な知識についてテキストや文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	乳児保育の状況を理解し、課題を見極めることができる。
	計画力	作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、期日までに計画を進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ発表の際、聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）話すポイントが整理され発表できる。
	傾聴力	グループワークで人の意見を受容し、さらに自分の意見を述べる事ができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたさず行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る事ができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「乳児保育の基本」吉本 和子著 エイデル研究所
参考文献：適宜プリントを渡す。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：小児保健・発達心理学・地域と子育て支援等 専門科目すべてに関連する。
資格との関連：保育士

学修上の助言	受講生とのルール
・講義ノートは細目にとり、配布プリントと共に整理し、まとめておくこと ・講義中に小テストをするので、欠席の場合、減点対象となる。	・乳幼児の成長に関わる大人(人的環境)としての自覚を持ち 授業に臨むこと。 ・授業中の私語は周囲の迷惑となるので慎むこと。携帯電話は電源を切りカバンの中に入れておくこと。 ・各週授業終了後シラバスに記載されている予習・復習内容を指示されなくても各自ノートに記述しておくこと。（記述していない場合は減点対象）

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント				
学修成果	学期末試験		①					
			②					
			③					
			④					
			⑤					
	平常評価	小テスト	20	①		✓	・授業内容を理解できているか確認する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学修した内容とする。	
				②		✓		
				③		✓		
				④		✓		
				⑤				
		レポート	50	①		✓		・「乳児保育」に関する内容を広く調べ、資料の作成能力を評価する。 ・小課題を複数出題する。実施時期、テーマは授業中に指示をする。 ・まとめ「0, 1, 2歳児の発達表を作成して学んだこと」提出日 後日連絡
				②		✓		
				③		✓		
				④		✓		
				⑤				
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	20	①	✓	・各回の内容について、理解度を確認するために成果発表を行う。グループ討議のメモ用紙(10点)、プレゼンテーションの成果(10点) ・1分間の発表。 ・0, 1, 2歳児を対象にした表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。				
		②	✓					
		③	✓					
		④	✓					
		⑤						
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 課題等の主旨を捉え、進んで取組み自己学修ができたか評価する (実行力) 決めたことは最後までやりきることができたか評価する (課題発見力) 現代の子育て状況の理解から課題を見極められたか評価する (創造力) 他者と活動する中で多角的に物事を考えることができたか評価する (発信力) 相手に分かりやすい、話しのポイント、方法ができているか評価する (傾聴力) グループ活動の際意見を述べる事ができるか評価する (規律性) 授業が円滑に進行するようルールを守る事ができたか評価する。			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤					
総合評価 割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
到達レベルに加え、S：社会人基礎力のうち7修得できている。A：社会人基礎力が6修得できている。 ① 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。 ② 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 ③ 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 ④ 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や関係機関との連携について理解する。	到達レベルに加え、S：社会人基礎力のうち7修得できている。A：社会人基礎力が6修得できている。 ① 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。 ② 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解することができる。 ③ 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解することができる。 ④ 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護や関係機関との連携について理解できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 乳児保育の理念と役割を知る。乳児保育とは何か、乳児保育の理念と概念を知る。	講義後	乳児保育とは何か、乳児保育の理念と概念について理解する。	(復習) テキスト冒頭カラー部分を読み、0.1.2歳児室の違いを知る。	90	主体性 規律性 実行力
2週 /	乳児保育の歴史と海外における乳児保育を学ぶ。	講義	乳児保育の歴史と海外における乳児保育を概ね理解し、記述することができる。	(予習) テキストp2~12を読み、理解できない点、疑問点等をまとめておく。	90	主体性 規律性
3週 /	乳児保育の基礎知識①乳児の生得的な特性及び心の発達について学ぶ。	講義後	乳児の生得的な特性及び心の発達について概要を理解し、概ね説明記述することができる。	(予習) テキストp13~25を読み、理解できない点、疑問点等をまとめておく。	90	主体性 規律性
4週 /	乳児保育の基礎知識②0~3歳児の発達の特徴、発達過程、自我の芽生えと人格形成について理解する。	講義	0~3歳児の発達の特徴、発達過程、自我の芽生えと人格形成について概要を理解し、概ね説明記述することができる。	(予習) テキストp26~38を読み、理解できない点、疑問点等をまとめておく。	90	傾聴力 課題発見力 主体性 傾聴力 規律性 主体性
5週 /	3歳未満に児の発達と保育内容。6か月未満の子どもの育ちと保育内容(睡眠・栄養摂取・排泄・衣類と着替え・安全・遊び)について学ぶ。	講義後	6か月未満の子どもの育ちと保育内容(睡眠・栄養摂取・排泄・衣類と着替え・安全・遊び)について概要を理解する。	(予習) テキストp39~56を読み、理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 6か月未満の子どもの育ちを学んだことや資料を基に発達表に記載をする。	90	傾聴力 課題発見力 主体性
6週 /	3歳未満に児の発達と保育内容。6か月~1歳3か月未満の子どもの育ちと保育内容(睡眠・離乳の開始・衣類と着替え・安全・遊び)について学ぶ。	講義後	6か月~1歳3か月未満の子どもの育ちと保育内容(睡眠・離乳の開始・衣類と着替え・安全・遊び)について概要を理解する。	(予習) テキストp57~83を読み、理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 6か月~1歳3か月未満の子どもの育ちを学んだことや資料を基に発達表に記載をする。	90	傾聴力 課題発見力 主体性
7週 /	3歳未満に児の発達と保育内容。1歳3か月~2歳未満の子どもの育ちと保育内容(睡眠・食事・排泄・トイレトレーニング・着替え・安全・遊び)について学ぶ。	講義後	1歳3か月~2歳未満の子どもの育ちと保育内容(睡眠・食事・排泄・トイレトレーニング・着替え・安全・遊び)について概要を理解する。	(予習) テキストp84~98を読み、理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 1歳3か月~2歳未満の子どもの育ちを学んだことや資料を基に発達表に記載をする。	90	傾聴力 課題発見力 実行力
8週 /	3歳未満に児の発達と保育内容。2歳の子どもの育ちと保育内容(睡眠・食事・排泄・着替え・安全・遊び)について学ぶ。	講義後、フィードバックする。	2歳の子どもの育ちと保育内容(睡眠・食事・排泄・着替え・安全・遊び)について概要を理解する。	(予習) テキストp99~111を読み、理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 2歳の子どもの育ちを学んだことや資料を基に発達表に記載をする。	90	傾聴力 課題発見力 主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	グループごとに対象とする乳児の月齢を設定し、発達の特徴をまとめ、発達を促す遊びを考える。	復習テスト 講義	協働意識を持って、グループ討議ができる。他者の意見を謙虚に受け止め、グループワークでの自己コントロール能力を持つことができる。	(予習) グループ討議に自分なりの意見を述べるができるように、遊び等を調べておく。 (復習) 発達表完成させる。次週提出。	90	働きかけ力 発信力 創造力
10週 /	各グループ考案した乳児対象の遊びや環境設定について発表する。各グループの発表内容を振り返り、各自意見や感想を記述し提出する。	グループ発表 感想レポート提出	各グループの発表を傾聴することができる。乳児の発達過程や援助の知識を基に発表内容について、自分なりの意見や感想の記述することができる。	(予習) グループ発表における自分の役割の確認し、発表方法等についてリハーサルしておく。	90	状況把握力 発信力 課題発見力
11週 /	乳児保育の現状と課題・保育所及び認定こども園における乳児保育について学ぶ。乳児院、家庭的保育等における乳児保育について学ぶ。	講義後	乳児保育の現状と課題。乳児院、家庭的保育等における乳児保育の現状と課題について社会的背景を基に理解する。	(予習) 自分の住んでいる地域の乳児保育の現状について調べてくる。	90	状況把握力 発信力 課題発見力
12週 /	乳児保育の実態について学ぶ。保育課程に基づく指導計画の作成、観察・記録及び自己評価の考え方について学ぶ。	講義 グループ討議後	グループ内で保育計画(例)を見る。意見交換を通して乳児にとってより快適な環境や保育内容及び方法を考え、計画(例)に反映させる。	(予習) テキスト p122~130を読み、理解できない点、疑問点等をまとめておく。	90	傾聴力 課題発見力 主体性
13週 /	乳児保育における連携。保護者や保健・医療機関との連携のあり方について学び、今後の課題について考える。	講義後	乳児保育における保護者や関係機関との連携の基本的な在り方について理解できる。	(予習) テキスト p131~144を読み、理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 配布された資料を基に学びを深め、理解できていない点について確認する。	90	課題発見力 実行力 柔軟性
14週 /	乳児保育の制度や現状をもとに、保育所保育指針の「ねらい」「内容」「留意事項」その他について学修する。	講義後	乳児保育における保育所保育指針の「ねらい」「内容」「留意事項」その他について理解を深める。	(予習) テキスト p145~159を読み、理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 配布された資料を基に学びを深め、理解できていない点について確認する。	90	傾聴力 課題発見力
15週 /	これまでの授業内容を振り返り、今後の課題を発見する。	レポート作成・提出 講義後、フィードバックする。	これまでに学修した乳児保育の基本や乳児発達過程と援助の実際について、概ね説明することができる。	(予習) これまでの学修内容を見直し、理解できていない点について確認する。	90	課題発見力 主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52322	乳児保育Ⅱ Infante careⅡ	酒井昌子	✓	専門	1	選択	2年後期

科目の概要

乳児保育の理念と基礎理論について学び、保育士の役割について考える。乳児が健やかに伸び伸びと育つための望ましい乳幼児期の保育活動について、生命の維持と情緒の安定という視点を軸としながら理解する。乳児の身体的発達や一日の生活等についても理解し、保育士の関わり方や支援方法について具体的に学ぶ。さらに、乳児を取りまく家庭や地域の環境について、問題点と今後の課題について学ぶ。

学修内容	到達目標
① 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの方的な考え方について理解する。 ② 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 ③ 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。 ④ 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。	① 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの方的な考え方について理解できる。 ② 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解できる。 ③ 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解できる。 ④ 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業やテキストのみでなく、様々な情報を活用し、乳児向けの遊びや言葉かけについて知識を深め、課題である保育計画に活用していくことができる。
	働きかけ力	自分の意見の異なる他者に対しても、積極的に語りかけ、対話をしていく努力をする。
	実行力	授業で学んだ内容を、乳幼児対象のボランティア活動等の実践活動に活かしていく。
考え抜く力	課題発見力	乳児の一日の保育計画を作成し、計画の実現に必要な今後の課題を見出していくことができる。
	計画力	課題等に計画的に取り組み、提出期限を守ることができる。
	創造力	乳児が楽しめる言葉を使った遊び等を考案していくことができる。
チームで働く力	発信力	授業中にまわりが理解しやすいように、自分の意見を整理しながら、述べるることができる。
	傾聴力	授業中は、他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。
	柔軟性	グループ討論等において、他者の言動を受け止め、他者を援助していくことができる。
	状況把握力	グループ討論等において、自分の役割を判断し、的確な言動ができる。
	規律性	集団で学習する意味を理解し、自己及び他者の人権と学習権利を遵守することができる。
	ストレスコントロール力	感情的に意見が対立した場合も、自身の感情を抑制し、冷静になる方法を持っている。

テキスト及び参考文献

テキスト：『養成校と保育室をつなぐ理論と実践。見る・考える・創り出す乳児保育1・2』
 参考文献：『保育所保育指針』監修 汐見稔幸『0.1.2愛着関係はくぐむ保育』学研『0.1.2.手作りおもちゃ64』学研『赤ちゃんのわらべうたあそび』チャイルド社

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：保育内容言葉・小児保健・発達心理学・地域と子育て支援等 専門科目すべてに関連する。
 資格との関連：保育士

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 授業以外で乳児に接する機会を持つ努力をすること。 乳児を取り巻く社会状況について、日常的に目を向ける意識を持つこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 私語や勝手な言動をする学生は、授業を受ける権利はないとする。 筆記試験・提出物・授業態度(出席状況)等によって評価する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		45	①	✓	・乳児保育の理念や基本について小テストを実施する。 ・乳児の各発達段階の特徴や援助方法について小テストを実施する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤		
		レポート		30	①		・DVD視聴感想レポートを提出する。 ・乳児の一日の保育計画を作成し、提出する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		15	①		・乳児の発達段階に応じた手遊びや歌あそび、おもちゃ等を考え、グループでもディスカッションに参加し、グループ発表ができる。 ・乳児の一日の保育計画を作成し、発表する。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 授業やテキストのみでなく、様々な情報を活用し、乳児向けの遊びや言葉かけについて知識を深め、課題である保育計画に活用していくことができる。 (実行力) 授業で学んだ内容を、乳幼児対象の様々な実践活動に活かしていく。 (課題発見力) 乳児の一日の保育計画を作成し、計画の実現に必要な今後の課題を見出していくことができる。 (創造力) 乳児が楽しめる言葉を使った遊び等を考案していくことができる。 (発信力・傾聴力) 授業中に他者が理解しやすいように、自分の意見を整理しながら述べることができ、他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。 (規律性) 集団で学習する意味を理解し、自己及び他者の人権と学習権利を遵守することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価 割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について十分に理解できる。 ② 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的かつ十分に理解できる。 ③ 乳児保育における配慮の実際について、具体的かつ十分に理解できる。 ④ 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的かつ十分に理解できる	① 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について概ね理解できる。 ② 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、概ね理解できる。 ③ 乳児保育における配慮の実際について、概ね具理解できる。 ④ 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、概ね理解できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	乳児保育の基本について学ぶ。子どもと保育士等との関係の重要性と個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わりについて理解する。	演習後	乳児保育の基本について学ぶ。子どもと保育士等との関係の重要性と個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わりについて理解できる。	(復習) 乳児保育の基本についてノート内容及びテキストを復習し、まとめる。	90	傾聴力 規律性 主体性
2週 /	子どもの主体性の尊重と自己の育ちについて学ぶ。子どもの体験と学びの芽生えについて理解する。	演習	子どもの主体性の尊重と自己の育ちについて理解できる。	(復習) 子どもの主体性や育ちについて、ノート内容及びテキストを復習し、まとめる。	90	傾聴力 規律性 主体性
3週 /	子どもの1日の生活の流れと保育の環境、こどもの生活や遊びを支える環境の構成について学ぶ。	演習後	子どもの1日の生活の流れと保育の環境、こどもの生活や遊びを支える環境の構成について理解できる。	(復習) 子どもの1日の生活の流れと保育の環境等について、ノート及びテキストを復習し、まとめる。	90	傾聴力 規律性 主体性
4週 /	乳児の過程(第1期～2期6ヶ月未満まで)と援助の実際(情緒安定・保健安全・食事・排泄・睡眠・遊び・保護者との連携・連絡帳の書き方等)について学ぶ。	演習 DVD視聴	6か月未満児の乳児の発達の特徴と、援助の実際について理解し、概要を説明することができる。	(予習) テキストの6か月未満児の乳児の発達の特徴について読み、質問を考える。	90	傾聴力 課題発見力 主体性
5週 /	乳児の発達過程(第3～4期6か月中期まで)と援助の実際(情緒安定・保健安全・食事・排泄・保護者との連携・連絡帳の書き方等睡眠・等)について学ぶ。	演習後	6か月以降～1歳3か月未満児(中期)の発達の特徴と援助の実際について理解し、概要を説明することができる。	(予習) テキストの6か月以降～1歳3か月未満児(中期)の発達の特徴について読み、質問を考える。	90	傾聴力 課題発見力 主体性
6週 /	乳児の発達過程(第5～6期6か月～1歳3か月未満児後期)と援助の実際(情緒安定・保健安全・食事・排泄・睡眠・遊び・保護者との連携・連絡帳の書き方等)について学ぶ。	演習 DVD視聴後	6か月～1歳3か月未満児(後期)の発達の特徴と援助の実際について理解し、概要を説明することができる。	(予習) テキストの6か月～1歳3か月未満児後期の発達の特徴について読み、質問を考える。	90	傾聴力 課題発見力 主体性
7週 /	乳児の発達過程第7～8期(1歳3か月～2歳児前期)と援助の実際(情緒安定・保健安全・食事・排泄・睡眠・遊び・保護者との連携・連絡帳の書き方等)について学ぶ。	演習 DVD視聴後	1歳3か月～2歳児(前期)の発達の特徴と援助の実際について理解し、概要を説明することができる。	(予習) テキストの1歳3か月～2歳児前期の発達の特徴の発達の特徴について読み、質問を考える。	90	傾聴力 課題発見力 主体性
8週 /	乳児保育における配慮の実際を学ぶ。子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮、集団での生活における配慮、環境の変化や移行に対する配慮について具体的に理解する。	演習後、 フィードバックする。	乳児保育における配慮の実際を具体的に理解できる。	(復習) 乳児保育における配慮の実際について、テキストを通して復習し、まとめる。	90	傾聴力 課題発見力 主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	乳児の発達過程第9期（2歳児後期）と援助の実際（情緒安定・保健安全・食事・排泄・睡眠・遊び・保護者との連携・連絡帳の書き方等）について学ぶ。	演習 DVD視聴	2歳児（後期）の発達の特徴と援助の実際について理解し、概要を説明することができる。	（予習） テキストを読み6ヶ月未満乳児に該当する箇所を確認し、内容を理解した上で記述できるようにする。	90	傾聴力 課題発見力 主体性
10週 /	長期的な指導計画と短期的な指導計画、個別的な指導計画と集団の指導計画について理解する。	演習後	乳児保育における計画の実際について具体的に理解できる。	（復習） 乳児保育における計画の実際について、ノート内容及びテキストを復習し、まとめる。	90	傾聴力 規律性 主体性
11週 /	グループごとに対象とする乳児の月齢を設定し、発達の特徴をまとめ、発達を促す遊びを考え、制作する。	演習 グループ討議 グループ制作	協働意識を持って、グループ討議ができる。他者の意見を謙虚に受け止めグループワークでの自己コントロール能力を持つことができる。	予習) グループ討議に自分なりの意見を述べるように、遊び等を調べておく。	90	働きかけ力 発信力 創造力
12週 /	各グループごとに考案した乳児対象の遊びや環境設定について発表する。各グループの発表内容を振り返り、各自意見や感想を記述し提出する。	演習 グループ発表	各グループの発表に敬意を持ち、傾聴することができる。乳児の発達過程や援助の知識を基に発表内容について、自分なりの意見や感想の記述することができる。	予習) グループ発表における自分の役割の確認し、発表方法等についてリハーサルしておく。	90	状況把握力 発信力 課題発見力
13週 /	グループ発表をもとに、乳児保育の内容や方法、環境構成を考え、一日の保育実習を設定し、保育計画を作成する。	演習	グループ発表をもとに自分なりの乳児保育の内容や方法を考え、一日の保育実習を設定した保育計画を作成することができる。	（予習） グループ発表内容を活かした乳児保育の一日の流れや環境構成を考え、保育計画作成の準備をする	90	課題発見力 創造力 実行力
14週 /	作成した保育計画の発表をグループ内で発表し、意見交換を通して、作成した保育計画内容を見直し、さらに乳児にとってより快適な環境や保育内容及び方法を考え、計画案に反映させる。	演習 個人発表	グループごとの個人発表における他者からの助言や意見を謙虚に受けとめ、反映させた一日の保育計画案を提出することができる。	（予習） 乳児を取り巻く現代の問題についてひとつ取り上げ、グループ発表できるようにまとめる。	90	課題発見力 実行力 柔軟性
15週 /	これまでの授業内容を振り返り、今後の課題を発見する。	演習後、 フィードバックする。	これまでに学修した乳児保育の基本や乳児発達過程と援助の実際について、概ね説明することができる。	（予習） これまでの学修内容を見直し、理解できていない点について確認し、授業での質問事項をまとめる。	90	課題発見力 主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力